

令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	12
--------	----

担当課	健康課	担当課長	大嶋 昌広			
事業担当者	持松 可奈子	一次評価者	持松 可奈子			
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	生活習慣病予防健診事業					
予算科目	4 款 1 項 4 目					
予算事業名	生活習慣病対策費					
総合計画での位置づけ(施策名)	健康管理・意識を高める					
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	健康増進法、食育推進基本計画					
事業の対象	35歳および39歳以上の住民(令和2年4月1日現在)5,468人					
事業の目的	生活習慣病予防健診を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療に努めるとともに、保健指導等により生活習慣の改善を図り、町民の健康維持、増進につなげる。					
実施期間	開始年度	昭和	36	年度から		
	終了年度	令和		年度まで		
事業の内容	九州大学久山町研究室および中村学園大学、呼吸器科、歯科、眼科等関係機関による詳細な検査を実施しており、当日の検査結果をもとに診察および保健指導を実施している。また、専門医療機関への紹介やかかりつけ医への報告など、疾病の早期治療と重症化予防に努めている。令和2年度は感染症対策を講じるため、健診項目を縮小して短時間で終了するように実施している。					
目的達成の指標(成果指標)	特定健診受診率					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	人	70	70	70	70
	実績	人	61.5	52.2		
指標設定の考え方	健康管理を行ううえで町民が積極的に健診を受診し、健康状態を確認することが重要である。今後も未受診者対策に努め、特定健診実施計画の受診率を目標に設定し、実施していく。					
計画時の懸案事項	コロナ禍における健診事業を安全に実施するため、感染症対策を講じる必要がある。					
計画時の懸案事項への対応	感染症対策については国の示す手順を参考に、健診を協同で実施する九州大学久山町研究室、健診委託業者と対策を講じる。 また、密をさけるために時間予約制と健診項目の縮小を図るとともに、健診に従事するスタッフへの研修を行い、健診受診者に感染症対策にご協力いただく。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 4,122 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.15	0.15
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,183	1,147	1,076	1,076
事業費	直接事業費	34,348	36,848	36,948	36,948
	人件費	1,183	1,147	1,076	1,076
	合 計	35,531	37,995	38,024	38,024
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	71	59	59	71
	地方債				
	その他				
	一般財源	35,460	37,936	37,965	37,953
合 計	35,531	37,995	38,024	38,024	

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目 標	34,348	36,848	36,948	36,948	50,000
実 績	18,975	14,007			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
健診受診者数	人	3,010	2,600	3,100	3,100
		2,764	2,098		
特定健診対象者への受診 勧奨回数	回	2	2	3	4
		2	3		
連携会議の回数	回	1	2	2	2
		1	2		
健診周知活動回数	回	15	10	10	20
		16	6		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,640 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.15	0.15
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,183	1,147	1,147	1,076
事業費	直接事業費	18,975	36,848	14,007	36,948
	人件費	1,183	1,147	1,147	1,076
	合 計	20,158	37,995	15,154	38,024
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	83	59	62	59
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	20,075	37,936	15,092	37,965
合 計	20,158	37,995	15,154	38,024	

実施備忘録

--

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？ <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4 4 5 5	A
2. 町が実施する必要があるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5 5 5	A
3. 実施内容は適切か？		
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5 4 4	A
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4 4 4	B
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4 4 5	A

<p>今後の方向性</p> <p>A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	<p>C見直しの具体的内容</p> <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
--	--

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

本町が実施している生活習慣病予防健診は、詳細な検査項目の実施と健診当日の血液検査等の結果をもとにした診察や保健指導の実施により、疾病の早期発見、生活習慣の改善等に役立っている。町民が健康管理を行ううえで重要な事業である。
 令和2年度に限っては、感染症対策に重点をおき健診項目の縮小や滞在時間の短縮、健診従事スタッフへの感染症対策の研修等を実施しており、安全な事業運営に努めた。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

特定健診に関しては集団健診のほか感染症に不安のある方へ個別健診を導入した。
 感染症への不安や健診項目縮小の影響を受け、例年より受診者数は低下している。
 令和3年度も引き続き感染症対策を講じながら健診項目の充実に努め、町民の疾病予防および健康増進を継続して実施したい。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？ <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4 4 5 5	A
2. 町が実施する必要があるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5 5 5	A
3. 実施内容は適切か？		
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5 4 4	A
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4 4 4	B
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4 4 5	A

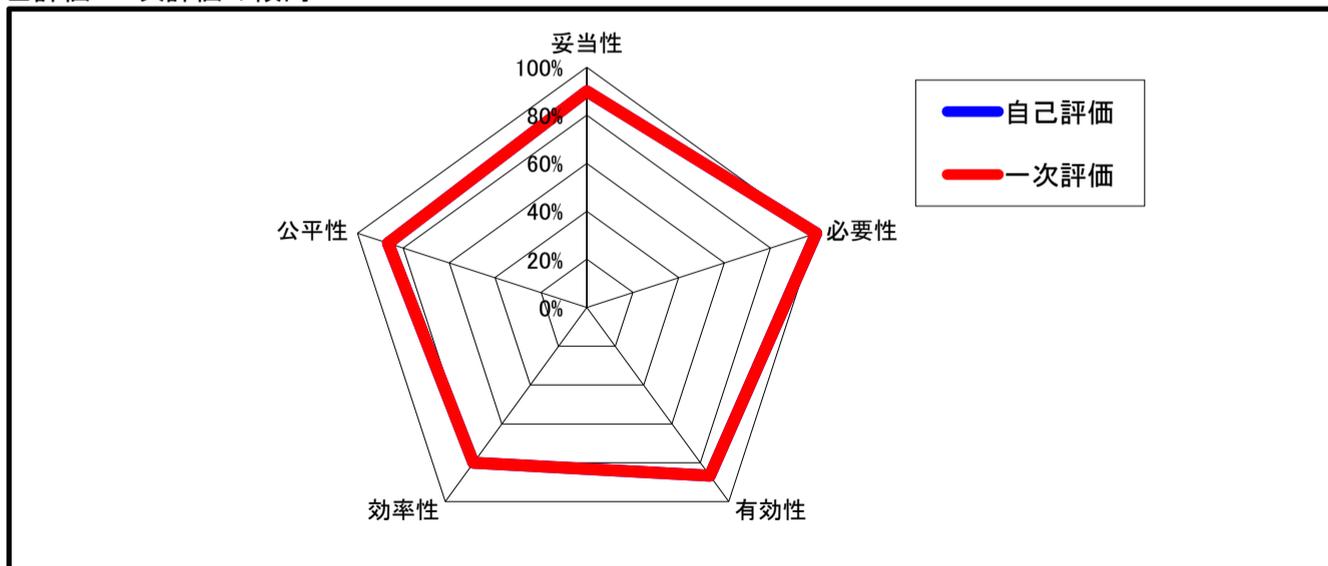
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

国の定める制度では各保険者が特定健診を実施するが、本町は全住民が無料で受診できる体制を整えている。町全体の健康状態を把握し、必要な健康づくりや疾病予防を図ることで住民の健康増進をすすめることができるため、必要な事業である。令和2年度はコロナ禍の影響により健診受診者数が減少している。令和3年度も感染症の影響を受け、受診控えも考えられるため、健診受診の必要性や健康増進について周知啓発を行う必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

大嶋 昌広

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

九大久山研究室との共同により質の高い健診を行っている。町民の健康状態を把握し、必要な健康づくりや疾病予防を図ることで住民の健康増進をすすめることができるため、必要な事業である。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		経営者会議の結果

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)	